

県内経済の動き

概況

〔2023年10月～2023年12月の動き〕

県内経済は底堅く推移

鉱工業生産指数（10月）は20カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は7カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）は16カ月ぶりに前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（11月）は4カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（12月 保証対象請負総額）は6カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（11月）は前月比+0.04の1.37倍で、12月の企業倒産は前月比横ばいの1件、負債額は同4億73百万円減の14百万円となった。

新型コロナウイルスの5類移行後、県内景気は緩やかな回復基調をたどっているが、長引く物価高の影響は多方面に広がっている。